

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室オレンジ		
○保護者評価実施期間	6年 2月 1日		6年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	6年 2月 1日		6年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	6年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもは、安心感を持って通所しています。	初めは慣れない場所、慣れていない大人と接することが、お子様にとって不安なことだと思います。スタッフ一同『安心感を持って、楽しく過ごせる』ことを意識して、話しかけやすい雰囲気や、落ち着く空間づくりを意識して、療育活動に取り組んでおります。	どうしたら、安心感をもてるのか？話しかけやすい雰囲気とはどのような雰囲気か？楽しんで知るか？接し方や、プログラム内容の工夫など、スタッフ一人ひとりの引き出しが増えるように、研修やミーティング等を実施しております。
2	「サービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされています。	新しく利用される保護者の方には、事業所でできることを丁寧に説明することを意識しております。支援の内容は、保護者の方の意向を伺い情報の共有をしっかりとすることで、どのようなことから支援するか、整理してお伝えするように、工夫しております。	安心して、お子様を預けていただけるように、関わり方や支援内容の意図を、しっかりと説明できるように心がけていきたいと考えております。
3	広いフットサルコートを活用して、身体を動かすことで、運動能力や協調性を育てている一方、教室では基本的には静かな環境で、集中力を養う活動を取り入れ、体力、運動能力、協調性などを高め、教室での静かな環境で精神面、集中力、認知的な活動の両方で、自己調整力を育てています。		

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では、非業災害に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われています。	開所当初に避難訓練を実施しましたが、開設当初以降にご利用している方も多く、実際に訓練の実施に参加されていない方もいることが原因だと思われます。	年に2回以上の訓練を実施しておりますので、訓練することはもちろんのこと、実施したことの共有等を掲示板等を用意して、保護者の皆様に周知するように努めてまいります。
2	地域に開かれ他事業所、地域との交流やつながり	昼食等を、近くのスーパーへ買い物へ行ったり、地域のフットサルコートを使用するなどしておりますが、実施の参加者や機会が限られています。	今後も、さまざまなイベントを通して、地域の方と接する機会や施設を知ってもらうように工夫していきます。
3	事業所では、家庭に対して家族支援プログラムや家族も参加できる機会や研修等がおこなわれている。	面談の際や、フィードバックの際に助言等は行っているが、プログラムとして、ペアレントトレーニングは行っておりません。面談以外にも、子育て相談等もおこなっているので、周知方法をみなおします。	ご希望に合わせて、面談ができることを、保護者の方へ周知する方法を工夫してまいります。